

やすらぎ

特養住民
佐々木アキノ筆

第17号

発行 平成14年9月25日
編集 社会福祉法人やすらぎ会
広報委員会



昔とった杵柄きねづか～久しぶりの包丁でも手が自然と動きます～
新しく誕生した特養お料理クラブの様子

- ◆ 特別養護老人ホームぶなの園
- ◆ デイサービスセンターぶなの園
- ◆ 沢内村在宅介護支援センター
- ◆ ホームヘルプステーションぶなの園
- ◆ 西和賀介護相談室

沢内村大字太田第2地割135番地 ☎0197-85-2322

◆ 沢内村高齢者生活福祉センターかたくりの園

沢内村大字大野第17地割140番地1 ☎0197-85-3388



チームワークの勝利!!

7月12日、七夕運動会を行いました。雨のため、内容を多少変更し、建物の中で行いました。内容は、住民の方々と一緒に検討し、玉入れ、ころがるボール、ボール送りです。初めての運動会ということで、どうなるのか、職員の人たちも戸惑いはありました。でもとにかく、住民のみならず、楽しんでいただけたらいいな、運動会にしようと思ひ、いろいろ工夫しながら計画を立てました。

汗をかくのは気持ちがいいね

〜第一回住民運動会〜

一日当りのサービス利用料金 〈サービス利用に係る自己負担額〉

介護度	特 養	短 期
要 支 援	—	914円
要介護1	796円	942円
要介護2	841円	987円
要介護3	885円	1,031円
要介護4	930円	1,076円
要介護5	974円	1,120円
食 事 代	780円	

来年度以降は変更の可能性があります。くわしく知りたい方はぶなの園までご一報下さい。

当日は、雨にもかかわらず、たくさんボランティアの方々にご協力していただき、終えることができました。終ったら住民も職員も汗びっしり。短時間でも皆さん、気持ちよさそうでした。住民の方々に感想を聞いたところ、次のような声が寄せられました。●今まで運動会とかが嫌いだっただも、この運動会は、楽しかったよ。(Sさん) ●初めてだったけど、職員のみならず、盛り上げて、応援してくれて、自分も楽しく運動会に参加することができた。(Tさん) ●職員の方が一生懸命作ってくれた、メダルが、とても嬉しく記念に残った。(Fさん) 職員体制が、不備な点もありましたが、住民の笑顔と汗で良いとして下さい。次回、住民の方々から今回以上、住民、職員と一緒に喜び合える運動会を計画していきたいと思っております。

〈特養介護職 丹波りか〉

介護 保険

ご家族の思いは

〜導入三年目を振り返ってみて〜

最近の医療費負担率の増加や保険料の増額など、私たちの生活は苦しくなっているのではないのでしょうか？介護保険の実施も様々な面で影響が出ているかと思ひます。



すべてのサービスはこの契約から始まります。

例えば、ホームヘルパーなど在宅サービスを介護保険以前から利用していた方などは、「使えるサービスが限られてしまつた」「今までお願いできていたことが、してもらえなくなつた」などの情報を新聞などでも目にします。しかし、在宅サービスに比べて特別養護老人ホーム(以下「特養」という。)を利用している方からの声が話題になることは少なく感じます。実際特養ぶなの園に入居されている住民と家族7名に意見を求めましたがほとんどの方が「特別なです。世話になつてばかりで」「毎月の利用料を払つてお願ひするようになったことが、今までとは変わったことですが、これだけの歳になつて世話になつていくのだから申し訳ない」「何も言うことはないです」など問題となる声はありませんでした。

話を伺うことができませんでした。「本人の年金などでは不足するので、私が一部払っているけれど、私は親族の長ではないし、もうすぐ、自分も年金暮らしになることを考えると将来が不安だ」などの話を聞かせていただきました。大変難しい問題だと思ひます。在宅のサービスと特養での生活へのサービス費用の間に開きがあることなどから、利用者単価の見直しにより、特養の利用料アップが実施されると、その不安は大きくなるばかりだと思ひます。ある家族からは「介護保険になつて、契約を施設と交わすことで、施設への安心が、前よりも確かになった気がします。また、制度が作られたことで家族の介護をお願ひして、自分は気兼ねなく働けるようになった」と聞きました。

今回はあまり意見や要望を聞くことができませんでしたが、これは介護保険制度が実施された理由のひとつの「施設利用者」と施設が対等」を施設側が様々な活動で実行できていない表れなのかもしれません。つまり私どもが住民一人ひとり、その人らしく生活していただくために、個別に生活の援助計画をご家族と共に作り、その計画のもとに介護させていただくことが十分なのだと思います。これからは、今まで以上特養住民のご家族などから、問題の相談、意見などを気兼ねなくたくさんいただける、そのような関係が作れるよう努力させていただきます。

〈特養生活相談員 前島正人〉



1日000円の利用料金となります。

新しい住民ご紹介

平成一四年六月〜八月



分沢 黒淵マサコさん (84歳)



新町 加藤ミトリさん (76歳)



鎌沢 柿沢成木さん (65歳)



川舟 高橋 敏さん (79歳)

〔8月入居〕 〔8月入居〕 〔8月入居〕 〔7月入居〕
(年齢は八月末現在)
よろしくお願ひいたします



介護予防

一緒に作ってみませんか 予防プラン

介護予防という言葉聞いたことがありますか。今まで「寝たきり予防」とかの言葉はありましたが、介護予防という言葉は介護保険制度が実施されると同時に使われ始めました。

この言葉の意味は、介護される心身になるのを予防する、又は介護される状況になった場合、重度になることを予防するということです。

病的病気をもち人は増えます。寝たきりになるきっかけは複数の慢性的病気の中である病気が急に悪化した場合が多いのです。原因別にみた寝たきり高齢者の構成割合の中で老衰は約26%、老衰こそが望むべき死と言っているわけではないでしょうか？

介護予防それは大きな病気にならないこと。それには生活、食事、運動等をこの沢内で働きながら注意し活動していく。一人だとやれないことも同じ年齢の方々と地域で、専門家の人と楽しくやれば、介護を受けずに生を全うできる人が増えると思えます。

それではどんな専門家と何をどのようにするのか一緒に考えてみましょう。今年度は沢内村保健福祉課の保健師の方と協力して次のようなことをやる予定です。一つは、沢内村に住むおもに65歳以上の方の今の状態を沢内村から教えていただき(予定)、訪問をさせていただきます。心身や生活の様子、何かお困りの

ことはないか等お話をうかがいます。

二つ目は、皆さんに『介護予防』についてご理解していただけるように活動していきます。具体的には社会福祉協議会のふれあいの家など地区の集りなどに参加させていただき、介護予防について一緒に、楽しく話し合います。そして、希望される方に『介護予防プラン』を一緒に立てさせていただきます。

介護予防プランは、皆さんからお聞きした状態をもとに、お一人おひとりの方に合わせ、皆さんと共に考えて介護予防の計画を立てて実行していきます。

介護予防では、皆さんの状態



初めてのうち合わせなので熱のこもった話し合いとなりました。

介護予防プランの例

氏名	M・Tさん 85歳
家族構成	一人暮らし
心身状況	<ul style="list-style-type: none"> ・自立 ・自分では何でも出来るが、腰掃ると右膝が痛くなり、歩行が困難な状態に陥っている。 ・外出の頻度の低下や以前の近所の訪問も少なくなった。
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・外出の確保 ・本人が出来る範囲で掃除を行うが援助が必要でないか、食事面(栄養面で)偏りはないか ・話し相手の必要性
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・痛みの緩和のため定期的通院を促す。 ・家事援助(掃除)で軽度生活支援を週一回 ・緊急通報システムの設置
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館単位の活動への参加 ・保健師、支援センターの訪問

の変化に素早く対応できるように、保健師や訪問看護師、その他関係機関と協力し合い、支援させていただきます。介護予防プランを立てることは無料です。詳しく知りたい方や希望される方は、支援センターにご連絡下さい。

ヘルパー訪問

不平・不満はございませんか？

平成一四年度第一回目のホームヘルパー第三者委員による、訪問が行われました。第三者委員を代表して、北島宮子さんより、訪問の感想をいただきました。



石井和子さん
☎85-5062



平沢安保さん
☎85-3280



高橋和子さん
☎85-2435



北島宮子さん
☎85-2308

初めての訪問は、二月の寒い時でした。私は村内に嫁いで三十年以上にもなるのですが、初対面の方が多く、「北上からでも来たのですか。」と聞かれ「新町の横ぜぎの嫁だ。」と自己紹介をかねて話を始めました。この時は、三名の方の自宅と、かたくりの園へ入所している四名の方へ訪問しました。

ヘルパーさんの仕事のことや不満等があったら話してほしい旨を伝えると、「おらだば何も不満はないし、今までどおりやってもらえればいい。家の者も助かってる。」というのが大方の声でした。

初めての訪問ということで気軽に言い出せなかったのかなと思ったり、聞き出し方がまず

かったかなと自己反省しました。二回目は七月で全てご自宅の訪問となりました。

今回は、私も肩の力をぬいて、ヘルパーさんのことについて聞き取るということより、むしろ、一人暮らしの方が多いので、話し相手の一人として訪問しました。二回目ということや自宅ということや、地域のことや家族のことなど楽しく話し合うことができました。

ヘルパーさんへの不平や不満、改善してほしいことなどについて話題を変えると、前回と同じように「やさしく言葉をかけて

くれるし、よく働くし、助かっている。感謝している」という言葉がかえってきました。

ヘルパーさんが誠意をもって介護にあたっていることが、足腰が弱られた方にとっては不満といふよりもありがたいという感謝の気持ちの方が強いのか話す言葉にも力が入っていました。訪問中、笑顔で明るく話す姿には、幾多の苦難の道乗り越えてきた自信のようなものが感じられ、話を聞きながら感銘を受けました。

「これからも元気で」と願いがら訪問先を後にしました。

平成14年度ホームヘルパー第三者委員

新町 太田 猿橋 川舟



北島宮子さん
☎85-2308



高橋和子さん
☎85-2435



平沢安保さん
☎85-3280



石井和子さん
☎85-5062

在宅での介護のお悩みは 在宅介護支援センターにご相談ください

【電話番号】
(0120)85-2319 (☎支援センター直通)
85-2322 (土・日・祝日・夜間対応)

お気軽にどうぞ!

今後の配布資料予定

- 10月** 介護保険以外のサービス
 - ・泊まるサービス・生活する環境を整えるサービス
- 11月** 介護保険以外のサービス
 - ・介護者のためのサービス・介護保険対象サービス利用までの流れ
- 12月** 介護保険対象サービス
 - ・自宅を訪問してもらうサービス
 - ・施設に通うサービス



真夏の共演 大盛況、大成功



～第四回やすらぎ会 夏まつり～

やすらぎ会一大行事の一つ「夏まつり」も今年で四回目。各行政区また、たくさんの方のボランティアの方々の協力により、大成功でした。

七月二十七日、前日まで雨が心配されましたが、晴天に恵まれ過去最高の四〇〇名余りのご来場者がありました。

模擬店を始め、ステージ出演、盆踊りの太鼓や踊り手の方々などたくさんの方のお力のおかげで大成功のうちに幕を閉めることができました。あらためて感謝申し上げます。

「ご参加、ご協力いただいた方数名に、ご感想をいただきましたので、ご紹介します。」



家族との和やかな時間がながれました

ぶなの園住民の方のご感想

子どもたちの鬼剣舞が、覇気があってとても良かった。北上の鬼剣舞はよく知っているが、それとはまた違ったふうに見える。はじまりのことばでは、たくさんの人に見られて少し緊張してしまった。

(亀井サメさん)

おみこしはなかったけど、たくさんお客さんが来てくれたおかげで、にぎやかで良かった。いろいろな踊りを見ることができて、私にとってはじめてのぶなの園の夏祭りはとても楽しかった。

(高橋とし子さん)

若畑区長

児玉幹夫さん

来賓(区長)としてご招待いただき、ぶなの園夏まつりへは今回で三回目の参加となりました。ステージや模擬店、盆踊りなど、盛り上がりは年々大きくなっているように感じられます。また、職員の動きも非常に丁寧で、職員の方々の対応も大変良かったです。



どこまでも鳴り響くさんさの声

猿橋小学校

校長 鬼柳匡子さん

本校では7月に行われた「猿橋つ子集合」に、地区のおじいさんおばあさんはもとより今年はおなの園の皆さんにもおいでいただき、交流することができました。全校が4つのグループに分かれての歌声コンサートの審査をしていただいたり、沢内甚句と一緒に歌ったり、英語学習の一端を紹介したり、なわなを教わったりと楽しく交流することができました。

そのお礼に収穫したお米を届けるだけでなく、何か交流できないものかと思っていたところへ、「夏祭り」の案内が届きました。猿橋地区教振会長・高橋貞夫さんの後押しと送迎していただいたご家庭の協力もあり、5・6年生のソーラン節を参加することができました。

運動会以来のソーラン節でしたが、おなの皆さんやお客さん方のあたたかい拍手をいただきました。アンコールまでかけていただき、感激の一時を体験することができました。ありがとうございました。

踊り手ボランティア

川舟 野中サダ子さん

区長さんの依頼で盆踊りの踊り手として初めて参加しました。好天氣に恵まれて、お年寄の皆さんも家族や知人と出合い笑顔で子供達のしし舞や踊りまた沢内さんさ踊りをなつかしそうに見



たくさんのお思い出を胸に閉会

私は第一回から毎年参加していますが、祭りの内容もだんだん良くなってきているように感じます。来年も楽しみにしています。

ぶなの園家族会

猿橋十郎さん

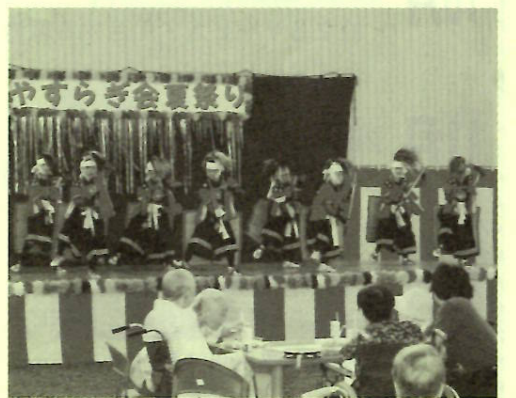
今年も村中からたくさんの方が集まり、ぶなの園の住民や家族、その他のお客さんもみんな喜んでいて、とても良いお祭りでした。

している姿がとても印象的でした。踊る私達も最後まで心楽しく踊ることが出来ました。祭りごとの大すきな私はまた来年も参加出来たらなあと思ってお年寄りとの再会と健康を祈っています。

模擬店ボランティア

長瀬野 新田富貴子さん

ぶなの園夏まつりということなので、私でも出来る事があればと



湯本子供鬼剣舞の勇士達

第2回 文化祭のおしらせ

と き 平成14年11月9日(土)・10日(日)

テーマ 語り合いましょう

これからの沢内村民の生活を(仮)

※さわうち生涯学習カレンダーにて11月2日となっておりましたが、
上期日に変更となりました。ご了承下さい。

ホーム喫茶のご案内

【開 店 日】

10月20日(日)

11月17日(日)

12月15日(日)

【ご利用時間】

13:30～16:30

【場 所】

ぶなの園

地域交流の場

お待ちしております！

編集後記

先日ある住民の方より、「今年の米はどん
だべが?」と、質問されました。80数年この
沢内で生まれ育った住民の方でも今年の夏の
様に毎日雨が降っていたことは初めてだとの
ことで、田んぼの米を案じている様子。しか
し「今は年貢米納めなくてもいいから幸せ
なんだあー」との他の住民の方の一言により、
表情は一転。

今年もお米がたくさんとれます様に…。

みんなで豊作を喜びあえます様に…。

〈やすらぎ会広報委員〉

丹波直人	高橋 渉	大澤利幸
梶本明男	高橋紅子	佐々木菜穂子
丹波りか	田中江美	

感謝申し上げます

平成14年5月～平成14年8月

【ご寄付】

- ・菊池菊治様
- ・高橋恵美子様
- ・蛭坂ヨシエ様

【ご寄贈】

- ・佐々木保夫様
- ・大石テツ子様
- ・高橋アヤ子様
- ・大堰とみ様
- ・高橋恵美子様
- ・佐藤信一様
- ・高橋章子様
- ・木村幸子様
- ・高橋昭一様

【ボランティア等】

- ・長瀬野婦人会様
- ・太田婦人会様
- ・新町婦人会様
- ・高橋みや様
- ・佐々木良子様
- ・高橋富美子様
- ・大石睦子様
- ・藤田ユミ子様
- ・高橋めぐみ様

